

令和元年度事業報告

特定非営利活動法人ひだまり

基本方針

知的発達障害を持つ人自身の意思と個性を尊重し、自立的生活への一助となるよう支援することを基本とします。

総括

令和元年度事業計画に基づいて事業を執行し、適切な運営に努めました。

各事業の進捗および収支状況は理事会にて報告し、的確な運営推進を行いました。理事会は年度内に5回実施し、通常総会は令和元年5月12日に実施しました。

会計並びに業務監査は令和元年5月1日に実施しました。

決算については別紙にて報告しますが、2月から年度末にかけて新型コロナウイルス対応に苦慮しましたが、スタッフの頑張りで当初予算を上回る黒字計上になりました。

障害福祉サービス「メープルリーフ」の計画相談支援事業は、事業所内の人的余裕が無く未達になっております。

権利擁護事業については「ひだまり勉強会」の開催を計画し、第3項に記載のとおり実施しました。

成年後見制度への対応は、障害児者の将来を守る父の樹会（以降父の樹会という）会員の高齢化が進み、重要性を増す課題で相談窓口としての機能を果たしました。これからも関連諸団体との連携による対応を推進してまいります。

各事業実施状況は以下のとおりです。

1 障害福祉サービス事業

- 強度行動障害の方を対象とする行動援護は、専門スタッフを多く擁するメープルリーフへの利用希望が多く、主要福祉サービスとしての対応を図りました。移動支援は知的障害者の社会生活参加への必要にして有効な手段であり、こちらも可能な限り要望に応じました。

昨年度まで自主企画で「知的障害者移動介護従業者養成講座」を5年連続で実施しましたが、令和3年度から制度と資格が廃止されることになり、開催を見送りました。

- 父の樹会生活支援部との連携 余暇活動や研修会等での支援を実施しました。
- 職員の育成 別紙のとおり、各種研修会に積極的に参加しました。
「メープルリーフ」運営の詳細及び実績については別紙にて報告します。

2 父の樹会事務局業務

- 前年と同様に企画管理、生活支援、青年学級、バザー工房、就労支援、研修啓発、各部門からの受託業務を滞りなく実施し、父の樹会の円滑な運営に努めました。
- 出納・会計業務の執行と理事会での月例収支状況の報告、並びに年度決算書及び次年度予算案の作成を実施しました。
- 定期刊行資料の取り纏めと印刷並びに発送・配布を実施しました。

3 権利擁護事業

- 平成 29 年度から開催しているひだまり勉強会「家族信託を活用した財産の継承を考える」は、改めて原点に戻って、基礎編の勉強と改正相続法および生命保険信託の活用方法について案内しました。

日時 令和元年 10 月 16 日（水）長沼原勤労市民プラザ

演題 「家族信託を活用した財産の継承を考える」

講師 田代 常光氏 NPO ひだまり理事、ファイナンシャルプランナー

参加者 36 人

* 勉強会の終了後、4 件の個別相談に対応しました。

4 相談支援、広報・案内事業

- 相談支援事業 当法人では父の樹会会員を対象に、会員ご自身や子供の将来など多様な相談を受け付けていますが、会員の高齢化の進展で成年後見の相談が増えており、NPO「PAC ガーディアンズ」及び「千葉市成年後見支援センター」と緊密に連携して適切に対応しました。
- 広報、案内事業 これまでと同じく広報誌「メープルつうしん」「ひだまり便り」の発行、ひだまりホームページの運営と更新を通じ、会員に情報の発信と案内を行いました。

5 認定NPO法人としての取り組み

千葉市条例に基づき平成 27 年 3 月末日付で認定NPO法人となって以来 5 年経過し、令和 2 年 3 月に認定NPO法人の更新時期を迎えましたが、お陰様で、更新条件の「平成 26 年 4 月から平成 31 年 3 月までの 5 年間の寄付者数が年平均 100 人以上」の実績をクリアし、無事更新認定を受けることができました。多くのご賛同者からご寄付を受ける団体として、これからも認定NPO法人ひだまりの社会的信用度が高まるよう適正な運営に努めてまいります。

6 令和元年度役員の構成

令和元年度は任期内につき全役員は継続して任務に当たりました。

理事長 平井紳一 専務理事 田川正浩

理事 小関 茂、高崎由美子、藤原千鶴、木下順生、田代常光、山本 茂、
高柳佳弘、成澤義次

監事 田中章夫 以上 11 名

7 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
(1) 障害福祉サービス事業 及び地域生活支援事業	行動援護、移動支援などの社会参加に必要な支援	随時	千葉市 及び 近隣地域	1回 1名	移動介護や支援を必要とする知的障害児者 延2,697名	38,306
(2) タイムケア その他	保護者に代り数時間の時間預かり、キャンセル料その他	随時	千葉市 及び 近隣地域	1回 1名	支援を必要とする知的障害児者 延 41名	202
(3) 移送 サービス	公共交通機関の利用困難な利用者の出先などへの自動車送迎	随時	千葉市 及び 近隣地域	1回 2名	送迎の必要な知的障害児者 延 687名	1,157
(4) 権利擁護	成年後見制度啓発・財産管理勉強会	令和元年10月16日、	事務局及び関連事業所	1回 3名	知的障害者の保護者 28名	70
(5) 相談・情報広報事業 認定NPO法人取組み	生活支援・その他の相談、機関紙発行、ホームページ運営、認定後諸活動	随時	事務局	2名+ 理事 4名	知的障害児者及びその保護者・賛助会員 606名	250
(6) 関連任意団体の運営支援	障害児者の将来を守る父の樹会各種事業運営	通年	事務局及び関連事業所等	2名 状況に応じ+ 理事2 ~4名	知的障害児者及びその保護者 375名	4,918
(7) 管理費	事務局管理支出	通年	事務局	2~3名	事業の管理運営に要する人数	4,306